

☆第26回 学年朝礼

1月30日(木)の学年朝礼では5名の生徒スピーチがありました。

「二項対立について」

1組

国語の勉強をしていて今北純一さんが書いた二項対立に関する本が面白かったので一部を紹介します。まず二項対立とは分かり易い例を挙げると「天動説と地動説」や「肉体と精神」があります。これらは2つの関係が矛盾や対立の関係にあることを言います。この関係を二項対立と言います。私たちの生活の中でも「勝ち負け」や「文系理系」などたくさんの二項対立があります。

しかし筆者は日常にある二項対立は安易的な分類に過ぎないと言っています。例えば「勝ち組負け組」を決める基準とはなんだと思いますか？一流大学を出て一流企業に就職してやりがいを見出せない人と中小企業の中で誇りを持って生き生きと仕事をしている人がいます。結局は全て自分の判断で決めること、と筆者は言っています。安易的二項対立ばかりなのはメディアや新聞にも責任があると述べています。だから何事にも最初に疑問を持ち自分の頭で解釈してそれを知恵に変えることが大きな知性になるらしいです。この本の題名は「自分力を高める」です。読んでみてください。

「英検と数検について」

2組

皆さんは実用英語技能検定と実用数学技能検定を知っていますか。今回気になったので調べてみました。漢検はあまり得意ではないのでやめときます。英検は1963年、数検は1992年にそれぞれできました。どちらも最初は受験する人数は多いと思いますよね。でも実際は、英検 37000 人数検 5500 人と過去の時点から英検の方が、圧倒的に人数が多かったのです。この学校の英検受験者数は毎回100人越えなのに数検は30人前後です。もしかしたら未来は決まっていたのかもしれませんがね。

では、できてから今までどのようなことをしてきたのでしょうか。面白いイベントをそれぞれ解説します。まずは英検についてです。実は英検は違う名称の検定があります。それは「国際連合公用語英語検定試験」です。名前にもあるとおり国連が主催だと思いませんか。実は違います。日本国連協会というところで、1981年から実施しています。ちなみに今も国連英検は受けられます。次に数検です。数検の面白いイベントは2005年にあった「円かき大会」「パイ」選手権大会です。これは名前の通り、どれだけ円をうまく描けるかを競う大会です。でも記録が全く残っていないので調べてみてください。どちらも皆さんが選ぶ進路の中で受けてみてください。

「今年の共通テスト」

2組

つい最近共通テストが行われましたね。共通テストといえば、毎年「ネタ枠」の問題があり、毎年論争が起こっています。過去には、よくわからない野菜の妖精や、まるでトモコレ、なぜかタピオカミルクティーなどと、「受験生を馬鹿にしてるのか」「こいつのせいで落ちた」という問題が数多く出題されています。そんな共通テストですが、今年も「ネタ枠」がいくつかあったので、紹介したいと思います。

今回特に話題となったのは、数学IAの第2問の(1)の2次関数です。花子さんと太郎さんが公園の噴水を眺めながら「大きな噴水の高さは何メートルだろう」と疑問に思い、噴水の水の曲線を放物線とみなすシチュエーションです。これは完全に、「デート中話すことがなくなって気まずくなった理系カップル」の図ですね。でも、噴水の高さを求めたがる高校生カップルなんてほとんどいないでしょう。問題に苦戦した受験生からは、「この2人を許さない」「噴水の水止めろや」「デートで噴水なんて眺めんな」という憤怒の声が上がっています。また、他には国語でヒス構文、なぜか化学に古文が出てきたそうです。このように、毎年「ネタ枠」の問題がいくつかあるので、いつか私たちが受けるときにも新たなネタ問が出てくるでしょう。楽しみですね。

「山火事について」

3組

みなさんは今、ロサンゼルスで大規模な山火事が発生していることを知っていますか？

1月7日に発生した山火事は、今もなお、続いており、22日にも新たな火災が発生しています。1万2千棟以上の建物が被害を受けており、延焼範囲は約160平方キロメートルに達しました。原因は調査中で、公式に解明されていません。日本でも今の時期、火災件数が増えている、令和5年の火災件数は3万8672件と前年より2358件増加しています。特に1月から3月は火災件数がとても増えやすいのでみなさんも火の扱いには十分気をつけてください。

「2つの雑学」

3組

今日は2つの雑学についてお話しします。

まず、世界一長い曲は演奏が終わるまで639年かかってしまうそうです。作家であるジョン・ケージによる作品で、ドイツ中部ハルバーシュタットの教会で2001年から演奏され、演奏終了は2640年だそうです。現在この時間も演奏され続けているなんてビックリですね!!

次は、「マジ・ヤバい」という言葉は江戸時代から使われていたそうです。若者言葉のイメージが強い「マジ・ヤバい」は実は江戸時代から使われていたそうです。「マジ」は現代と同じように「真面目に」という意味で使われていたそうです。「ヤバい」は役人から目をつけられたら危ないという意味で使われていたそうです。他にもたくさんの雑学があるのでみなさんも探してみてください。

☆来週の予定

日	曜	予定	給食	備考
3	月	45分時程 全校朝礼 ①校外学習事前学習 専門委員会	○	
4	火	中央委員会	○	
5	水	45分時程 ③カット 1:10下校	○	
6	木	学年朝礼	○	
7	金	⑥歌練習(体育館)	○	